令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17200000	健康こども こども未来

大事業	B1	６つのまちづくり宣言	女性若者活躍	款項目	03	民生費	02	児童福祉費	04	保育園施設費
		目指す姿	女性や若者が輝き、スポットライトが当たるまち！	ＫＰＩ	①生まれる赤ちゃんの人数（年間） ②女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合		目標値	①500人 ②40.0%
中事業	01	主要な取り組み	みんなにやさしく、楽しく子育て					
小事業	06	保育園ＩＣＴ活用事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	児童の発達は、一人一人違うため、保育士間で情報共有し保育にあたる必要がある。児童一人一人の発達を保育士が、その都度記録入力することで情報共有を図り保育につなげる必要がある。
対　象	保育を必要とする児童及び保育士
目　的	・保育士の質の向上を図り、コミュニケーションを充実し、人財育成を図る。 ・個々の子どもの状態を把握し保育を充実させる。 ・保護者が安心して預けられる保育環境を構築する。
概　要	ＭＩＭＯＴＥを活用し保育の質を向上させるとともに保育士の人財育成を図る。 ・全園へのシステム導入と安定化 ・各園でデータを活用したフィードバック会議を行うことで、それぞれの保育を振り返り、常に保育の質を向上させることを意識する。 ・月に１回程度、全園長が集まり、ＩＣＴ全体会議を開催、ＭＩＭＯＴＥの活用方法やデータの分析等について話し合うことで情報共有していく。

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	4,373	4,373	5,504	4,076	3,851
	決算額	4,318	3,780	5,254	3,967	3,763
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		704 / 600				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
フィードバック会議の開催	目標値	12	12	12	12	12
	実績値	20	12	12	12	12

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
本事業がスキルアップに有効と感じる保育士の割合（%）	目標値	80	85	85	90	90
	実績値	91	90	90	90	90

実績

実　績	ICT園内研修（入力したデータをもとにして、こどもへの理解、保育士のかかわり方、家庭への支援についてなど）　各園１２回
効　果	・各園でデータを活用したフィードバック会議を行い、それぞれの保育を振り返り、保育の質を向上させている。 ・月に１回程度、全園長が集まり、ＩＣＴ全体会議を開催し、アプリケーションの活用方法やデータの分析等について情報共有しながらより良い保育の実施につなげている。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	定期にフィードバック会議を行うことで、保育の振り返り、保育の向上が図られている。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	園児の状態や保育士の気づきなどのデータを利用し、フィードバックを行うことが保育の質の向上につながっている。
実績からR07年度の事業の方向性	委託業務の内容を見直し費用の削減を行った。 引き続き、ＭＩＭＯＴＥを運用し保育の質の向上を図っていく。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17200000	健康こども こども未来

大事業	B1	６つのまちづくり宣言	女性若者活躍	款項目	03	民生費	02	児童福祉費	06	学童保育費
		目指す姿	女性や若者が輝き、スポットライトが当たるまち！	ＫＰＩ	①生まれる赤ちゃんの人数（年間） ②女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合		目標値	①500人 ②40.0%
中事業	01	主要な取り組み	みんなにやさしく、楽しく子育て					
小事業	12	放課後児童健全育成事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	放課後に家庭での保育に欠ける児童を預かることで、安心して保護者が就労等をできる環境を整える必要がある。
対　象	保護者が就労等により放課後等の時間帯に留守となる家庭の小学１年から４年までの児童を対象とする。令和６年度から全クラブ６年生まで拡大予定
目　的	・保護者が就労等により放課後等の時間帯に留守となる家庭の児童に対して生活の場を提供することにより、保護者が安心して子育てと就労を両立できる環境を整える。 ・保護者留守家庭の児童を健康で安全に生活させ、健全な育成に努めることにより、保護者が安心して働くことができる。特にCaminhoカミーノが目指す女性が輝き夢を叶えられる美濃加茂市となる。
概　要	放課後等における児童の居場所を確保するための就労支援事業 ・保護者が就労等により放課後等の時間帯に留守となる家庭の小学１年生から４年生までの児童に、生活の場を提供する。 ・令和６年度から全クラブ６年生まで拡大予定

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	112,378	121,251	118,397	131,259	145,895
	決算額	111,265	114,568	116,572	130,285	143,315
年間の事業に要する時間(正職員/正職員以外)		1,390 / 322				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
各校区での開設率（ただし三和小は伊深小にて合同開設）%	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100	100	100	100

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
放課後児童クラブ利用者の満足度（「普通」以上）%	目標値	97	97	97	97	97
	実績値	97.8	98	98	99	97

実績

実　績	保護者が安心して働くことができるよう放課後児童クラブを運営している。 ・開設教室　　市内10教室 ・利用許可人数　　972人
効　果	令和６年度当初の受け入れについては待機児童なく受け入れをすることができた。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	各学校単位で開設ができている。古井小学校については、夏休みの希望が多かったため、本郷住宅を使用して受け入れた。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	放課後児童クラブでの預かりが出ていること、保護者アンケートでは現場の支援員の対応がよいとの声があり満足度につながっている。 児童の居場所を確保を目的とした指標に変更するため、R7年度からKPIを待機児童者数に変更する。
実績からR07年度の事業の方向性	利用申請数が増加しているため、待機がなく受け入れができるよう事業を行っていく。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17200000	健康こども こども未来

大事業	B1	６つのまちづくり宣言	女性若者活躍	款項目	03	民生費	02	児童福祉費	04	保育園施設費
		目指す姿	女性や若者が輝き、スポットライトが当たるまち！	ＫＰＩ	①生まれる赤ちゃんの人数（年間） ②女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合		目標値	①500人 ②40.0%
中事業	01	主要な取り組み	みんなにやさしく、楽しく子育て					
小事業	14	里山保育事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	・地域にある身近な自然環境を活用した保育を行う。 ・少子高齢化、人口減少など社会状況の変化により家庭における子育て力や地域コミュニティーにおけるつながりの低下など子どもを取り巻く環境が変化しており、こどもの育ちに対する保育園の役割が大きくなっている。 ・保育士の公立園の保育の方向性（ビジョン）を共有するための指針を作成する。 ・里山（自然）の中で保育するための保育士のスキルアップが必要である。
対　象	公立保育園、こども園の利用児童
目　的	・自然、くらし、地域の人に関わることで、非認知能力を高め、将来の美濃加茂市民を育てる。 ・美濃加茂市の豊かな自然、地域をフィールドに「ひと」「こと」「くらし」へのかかわりを感じ、学び、吸収することで自分と他者を大事に思える心を育む保育を推進する。 ・五感を使って自然（水、土、風、動植物など）の中で毎日自由に遊ぶ体験が非認
概　要	・里山保育の指針作り ・美濃加茂市独自の保育士配置基準の策定 ・連携協力体制の構築 ・保育士のスキルアップと育成 ・小学校へつながる仕組み作り ・財源の確保 ・市内すべての保育園・こども園への展開

事　業　費　（千円）		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額				2,600	3,579
	決算額				1,373	2,316
年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）		1,846 / 430				

アウトプット

活　動　指　標　（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
モデル園との交流保育回数	目標値				12	12
	実績値				22	25

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
里山保育（保育内容）の満足度（%） ※保護者アンケート	目標値					80
	実績値					82

実績

実　績	里山保育事業での各園交流保育　25回 みのかも保育指針の作成 岐阜県森林アカデミーの科目履修実施
効　果	みのかも保育指針の作成により、保育士の里山保育の共通理解を図った。 交流保育を行うことにより、こどもが自園にはない里山（自然）に触れる機会を提供している。 岐阜県森林アカデミーの科目履修による保育士のスキルアップが図られた。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	こどもの非認知能力を高めるために、交流保育を実施することで、里山（自然）に触れる機会を提供できている。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	保育参加等を通して、保護者が保育内容について理解が深まっている。 各園より取り組みや保育内容を発信することで保護者理解が深まっていることが満足度向上につながっている。
実績からR07年度の事業の方向性	みのかも保育指針を活用し、研修等を行い、保育士の保育の共通理解を深めていく。 交流保育を行うことにより、こどもが里山（自然）に触れる機会を提供していく。 保育士のスキルアップを図るため、岐阜県森林アカデミーの科目履修を継続して行う。

令和６年度　事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17200000	健康こども こども未来

大事業	C1	６つのまちづくり宣言	多文化共生	款項目	03	民生費	02	児童福祉費	01	児童福祉総務費
		目指す姿	みんなで一歩を踏み出そう！	ＫＰＩ	①外国人市民の高校進学率 ②多文化共生のまちづくりが進んでいると感じる人の割合		目標値	①97.6% ②50.0%
中事業	02	主要な取り組み	外国人児童生徒の教育支援					
小事業	02	プレスクール事業		目標年度	令和6年度			

インプット

事業実施の背景にある課題	プレスクール事業を実施する事業者等が少ないため、その確保が課題となっている。 保護者から勉強や学校での集団生活の大切さ、言葉の理解、生活習慣等についての理解、協力が得られにくい。
対　象	外国籍児童及び外国にルーツを持つ児童
目　的	保育時間中に対象児童を集めて日本語教師により実施する。就学前の対象児童が日本語やひらがなの読み書き、日本の学校のルール、生活習慣、コミュニケーションの取り方などを学ぶことで、理解が広がりスムーズな就学へとつなげることができる。
概　要	・外国籍児童と外国にルーツのある児童等を対象とし、保育中に年長児童と年中児童を年齢、日本語の理解の度合を考慮してクラス分けをして指導を行う。 ・日本で生活して行く上で基本的な生活指導、日本語指導、自分の名前の読み書きができるようになる。また、学校生活のルールもわかり、集団生活になじむことができる。 （市内の外国籍児童と外国にルーツのある児童が多く在籍している園で実施）

事　業　費　(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	633	633	633	633	1,261
	決算額	623	615	626	628	1,137
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		338 / 2				

アウトプット

活　動　指　標　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
プレスクールを実施する園の数	目標値			2	2	4
	実績値			3	4	7

アウトカム

Ｋ　Ｐ　Ｉ　(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
語彙調査の結果（点数が上がった子の割合%）	目標値			80	82	85
	実績値			95	95	70

実績

実　績	保育園　４園で実施 ・太田第一保育園　年長児　４人、年中児１人 ・あじさい保育園　年長児　６人 ・加茂野保育園　　年長児　９人 ・森山学園　　年長児　１６人 認可外保育施設　３園で実施 ・Zion　　年長児　　３人 ・AGAPE　　年長児　１３人 ・SHEKINA　年長児　　３人
効　果	事業の周知により、認可外保育施設の協力を得られている。 語彙調査の結果、語彙力が上昇した児童は７０％となっている。 語彙調査の結果を教育委員会に提供することで、小学校への就学につなげている。

評価分析

活動指標分析 ※目標値の達成・未達成要因	公立園での実施以外にも、外国人児童が多い私立園や認可外保育施設に協力を求めて実施したため実施園が増加した。
ＫＰＩ分析 ※目標値の達成・未達成要因	R6は認可外保育施設に協力を求めて実施したが、年度の下半期からの実施となったこともあり、語彙力が上昇した割合は６３％となった。 公立保育園へ通う外国籍児童は減っており、当事業への参加率向上を狙いとしたいため、R7からKPIを「外国人児童のプレスクール事業参加率」に変更する。
実績からR07年度の事業の方向性	外国人児童が多い私立園や認可外保育施設に協力を求めていることで参加率、実施園が確保できている。引き続き関係各所に協力を求めながら外国人児童のプレスクール事業への参画の機会を確保していく。